



総会・所長研修会

平成30年4月20日（金）、北海道立教育研究所において、平成30年度北海道教育研究所連盟総会及び所長研修会を開催しました。

総会では、平成29年度の事業等の報告及び平成30年度の事業計画等の協議が行われ、全ての議案が承認されました。

また、所長研修会では、北海道教育大学大学院教育学研究科准教授 姫野完治氏の講演と、「ミドルリーダーの育成」「新学習指導要領の全面実施に向けた取組」について情報交流等を行いました。



【総会の様子】

講演

演題：「ミドルリーダーの資質・能力の向上の在り方について」

講師：北海道教育大学大学院教育学研究科准教授 姫野 完治 氏

北海道教育研究所連盟総会



【姫野氏による講演の様子】

- 教員は研修だけではなく、多くの経験から学ぶ存在である。
 - 教員は自分が必要とされていると感じることで、学ぶことに意欲になる場合がある。
 - 周囲の教員とのつながりが生まれることで、学ぶことに意欲になる場合がある。
 - 研修を通して必要なことを伝えるだけではなく、教員を学びへ誘う工夫が必要であり、そのためのコミュニティをどのようにつくるかをミドルリーダーは考える必要がある。
 - 本道において、メンターチームをつくり、若手教員のコミュニティの中で教員が学ぶシステムをつくっている学校がある。
- 今までのように「教える人」、「教えられる人」という関係だけではなく、チームの中での自分の役割を考えることが、深い学びにつながる。
 - メンター研修の事業報告では、初任者だけではなく、先輩であるメンターの学びに好影響を与えることが報告されている。こうした取組を通じて、ミドルリーダーの素地をつくるのが大切である。
 - 子どもの見方など、教師の経験や実践に基づいた知識を共有する場づくりが重要である。

情報交流

■ ミドルリーダーの育成について(各教育研究所・センターの取組)

- ミドルリーダーを対象とした講座では、演習や協議を通して自校の課題解決に向けた取組について情報共有できるよう工夫している。
- 研究所が実施している講座では、ミドルリーダーが講師を務めることにより、受講者だけではなく、ミドルリーダーの資質・能力の向上が図られている。



【情報交流の様子】

- ミドルリーダーを対象とした学校力向上に関する研修講座では、3か年計画で継続して参加してもらうことにより、計画的にミドルリーダーを育成できるよう工夫している。

■ 新学習指導要領の全面実施に向けた取組について

- 新学習指導要領の全面実施に向けて、小学校における英語教育や道徳教育など、教員のニーズを踏まえた研修講座を開設する予定である。